

豊明希望チャペル礼拝

2026/3/15

「弟子達を呼び寄せ」

ルカの福音書 6 : 12~19

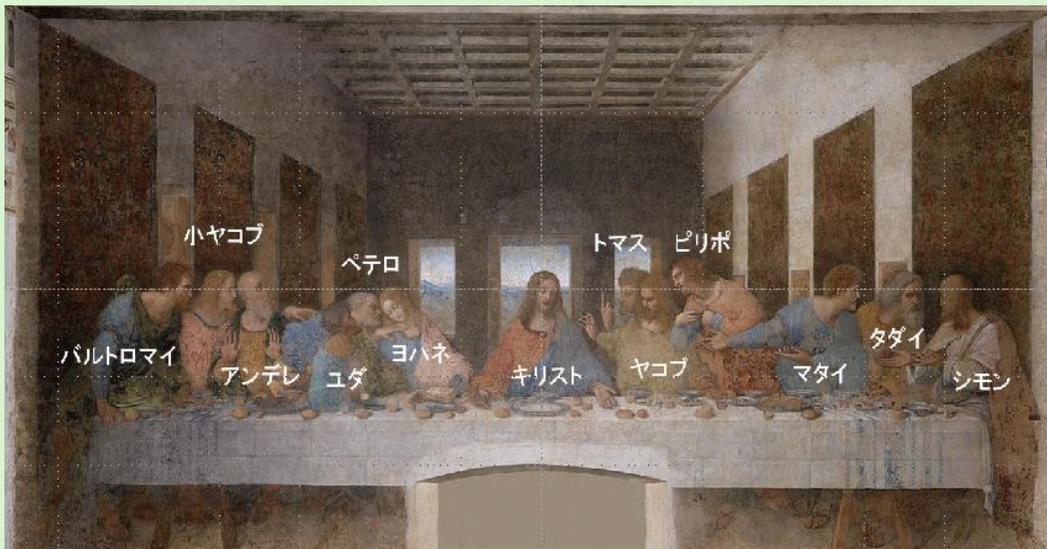
今回は、イエス様によって12人の使徒と呼ばれる主な弟子が選ばれる場面です。当時、イエス様について行っていた弟子達は、70人はいただろうと言われます。その弟子群の中から、特にイエス様が、この12人を選んだということです。

私は、特に今日のルカの福音書にあげられている12人をあらためて、聖書などで確認しながら、まあ、58人の他の弟子達について多くを知らないで、比較は出来ないけれど、私は選ぶ側、すなわち、イエス様の思いになって、どういう基準で選んだのかなあと考えていました。

脱線しますが、折も折、今、野球の国際大会、WBCが行われておりまして、大谷選手をはじめ、アメリカで活躍しておられる選手、日本で活躍しておられる選手の代表が大活躍していますね。誰を出場選手に先発の9選手を選ぶか色々と議論され、監督らによって選抜されていきますが、練習試合から始まり、試されながら、ピッチャー、野手が、誰が一番、誰が二番を打つとそれぞれの選手が適材適所に配置されていく様子が、報道されていて、重なったわけではありません

が・・・やはり、どういう基準で選んだのだろうと、いっそう興味深く見ておりました。

侍ジャパンWBCメンバー			
2次発表メンバー (11月16日)			
位置	背番号	選手名	所属
投手	19	菅野 智之	オリオールズFA
	66	松本 裕樹	ソフトバンク
	12	坂本誠志郎	阪神
	4	若月 健矢	オリックス
捕手	5	牧原 大成	ソフトバンク
	6	源田 壮亮	西武
	20	周東 佑京	ソフトバンク
	2	牧 秀悟	DeNA
内野手	7	佐藤 輝明	阪神
	8	近藤 健介	ソフトバンク
	23	森下 翔太	阪神
	1	大谷 翔平	エンゼルス
外野手	17	菊池 雄星	エンゼルス
	16	大谷 翔平	ドジャース
	1	松井 裕樹	パドレス
	69	石井 大智	阪神
	14	伊藤 大海	日本ハム
	26	種市 篤輝	ロッテ
	15	大勢 大勢	巨人
	61	平良 海馬	西武



これは、ダビンチの有名な、『最後の晚餐』の絵ですが、名前が付されていますから、参考に見ましょう。

それで、また、あらためて、ルカの福音書に記載されている、選ばれた使徒の記事を、その選ばれた経緯と共に確認しましょう。読みますので、このダビンチの名前入りの絵を見ながら聞いて下さい。

「6:12 そのころ、イエスは祈るために山に行き、神に祈りながら夜を明かされた。6:13 そして、夜が明けると弟子たちを呼び寄せ、その中から十二人を選び、彼らに使徒という名をお与えになった。6:14 すなわち、ペテロという名を与えられたシモンとその兄弟アンデレ、そしてヤコブ、ヨハネ、ピリポ、バルトロマイ、6:15 マタイ、トマス、アルパヨの子ヤコブ、熱心党员と呼ばれていたシモン、6:16



ヤコブの子ユダ、イスカリオテのユダで、このユダが裏切る者となった。」

12 節に、イエス様は、70 人？の中から、誰を選ぶか、その目的のために、山で一晩中祈っておられたようです。

「6:12 そのころ、イエスは祈るために山に行き、神に祈りながら夜を明かされた。」そして、70 人を呼び寄せて、あるいは並ばせて、次々と指名するという場面となります。侍ジャパンではありませんが、まずは大リーグから、そして、中日から高橋宏斗は選ばないといけない・・・などと、祈りながら導かれた結果が、どういう基準であったのだろうかことかは、実は、教会史の歴史の中で、たびたび聖書学者などによって、問題にされてきました。



全部、順を追って見ても良いのですが、二人の人を主にピックアップしたいと思います(あえてイエス様が選んだユダについても触れたいところですが、それは別の機会に譲るとして・・・この二人に今朝は触れたい・・・)。(1)一人は、70 人を並べて、イエス様が、おそらく最初に指名したであろう人です。そうです。「:14・・・ペテロという名を与えられたシモン・・・」です。

(2)もう一人は、**タダイ**という使徒について取り上げたいと思います。なぜ、

彼を取り上げたのかについては、実は、彼について、このルカの福音書には、その名が書かれていない使徒です。というより、マタイの福音書とマルコの福音書には共通して出てくる使徒の名前ですが、なぜか、ルカは、おそらくそれを知っていて、ここに記録していないからです。

ただし、おそらく、その理由は、先に言ってしまいましたが、ルカの時代には、その名前よりも、別の名前で教会に知られるようになっていたので、その何に変えたと言うことです。

誰かと言うと、マタイマルコとの共通名を省いていくと、一人残るのは、16 節にあります、ヤコブの子ユダの事で間違いないかと思います。なぜ、タダイではなく、こちらの名前でも有名になったのかについては、一つには、やはり「ユダ」という名前にあるのだろうというのが一つの答えです。それは、イエス様を裏切ったただ一人の使徒、イスカリオテのユダと同じ名前だからです。

ルカはこう書きます。「**6:16 ヤコブの子ユダ、イスカリオテのユダで、このユダが裏切る者となった。**」そのもう一人のユダですと、言っているのです。

私は、単純に、ルカにとっても、当時の人にとっても、覚えやすく、そう言われていただろうという事です。あ、あの、裏切り者のユダでないほうの、ユダ先生ねと。

ただ、もし私が、あの極悪人林でないほうの林先生ねと、言われて覚えられたら、ほんとうに嫌だなあと・・・そう思います。

使徒の研究の歴史においては、このユダが、他の使徒に比べて、資料がなく、伝説にもないので、西方教会で何と言われたかというと、別名「忘れられた聖人(使徒)」と呼ばれたのです。有名になったのは、19 世になって、あまっている聖人がいなくて、たまたまアメリカのシカゴのシカゴ警察が、シカゴ警察の守護聖人としてしようということで、有名になったのみとかいうような、そんなレベルだということです。

ルカが、特に悪意や、意図があって、言ったのではないと思いますが、あの裏切り者ユダと同じ名前ですとしか言われないうたという存在を書き残していただくこと、また、そんな名前(タダイ)も残らないような、そんなユダを、イエス様を選ばれたことに、私は、何か、本当に心引かれるものがあるのです。

100 年後の何かの資料に、21 世紀に、愛知県に林という牧師がいた、もっともよくわからない人物で、当時、愛知県で犯罪者として有名になった林なにがし・・・と名前と一緒に書かれたとしたら、しかしです、そんな人間が、そんな人間であっても、イエス様が、夜通し祈って下さって、その結果、指名された人間の一人であると言われるとすれば、私も、その名無しのクリスチャンとして、名誉ある事だと言うことです。ほとんどの歴史に名が残らないで死んでいく、しかしそれでも、神に選ばれるんだと、名もない、名も残せないクリスチャンであっても、主が選んでいて下さる、選んで下さったことに感銘を受けると言うことでもあります。

そのように、見てくると、冒頭に選ばれたペテロについても、ルカが、そして、

他の共観福音書の著者達が、このペテロについても、3度イエス様を知らないと言った、あのペテロ、湖の上を歩きたいと申し出て、じゃあ、歩けと言われて、しかし、不安になって、溺れかけたあのペテロと記録し、イエス様に対して、そんなに自分のことを卑下する者ではありません的な助言をして、サタンよ去れとまで言われてしまったペテロと記録され、ヨハネの福音書では、イエス様を三度知らないと言ったことで、復活のイエス様から、私を愛していると三度言わせられて、やっと、裏切りの汚名を、イエス様ご自身からそそいでいただいたと思ったら、ヨハネをさして、あいつもついてきますが、いいんですか？とでも言うように、イエス様にいって、お前は、彼と何の関係があるのだと諭された、しかも、それをもってヨハネの福音書の最後とされた、あのペテロが、最初に指名された使徒だと、ルカがここに記録するとき、タダイ、あるいは、もうひとりのほうのユダにしろ、ペテロにしろ、そういう人が選ばれたのだと、そういう人でも選ばれたのだというべきか、そのことに、同じ、感銘を受けるのです。

私たちも、なぜ、私が救われたのか、なぜ私がクリスチャンなのか、我が家の、私の兄弟では、一番、能力のないものですとか・・・、むしろ、私は、同級生の中でも、一番目立たなくて、尊敬もされていない人間で、私よりも、リーダーシップがあって、よほど神の国のお役に立つ人が、私のクラスの同級生の中に、すくなくとも、5人はいますと言わなければならないとしても、私がクリスチャンとなったと・・・その不思議を思うのです。

今日は、この箇所が続いて、17節以下もあえて引用させていただきましたが、おそらくルカにはその意図はなかったかも知れないのですが、摂理的にと、あえて言いましょうか、その不思議に対する、一つの答えがあるように思えるのです。

その箇所を、今日の最後に確認しましょう。

「6:17 それからイエスは彼らとともに山を下り、平らなところにお立ちになった。大勢の弟子たちの群れや、ユダヤ全土、エルサレム、ツロやシドンの海岸地方から来た、おびただしい数の人々がそこにいた。6:18 彼らはイエスの教えを聞くため、また病気を治してもらうために来ていた。汚れた霊に悩まされていた人たちも癒やしてもらっていた。6:19 群衆はみな何とかしてイエスにさわろうとしていた。イエスから力が出て、すべての人を癒やしていたからである。」

12使徒の選任の、その後、イエス様は、たくさんの人達の病気を癒されたという報告ですが、(ルカの意図でないにしても・・・)特に目を留めたいのは、この言葉です。

「6:19・・・イエスから力が出て、すべての人を癒やしていたからである。」

という、なにげないというか、しかし、あたりまえのことをあえて、言う、このルカの説明です。「**イエスから力が出て**」癒されたと言うことです。

あたりまえと言ったのは、今までも、病の人が癒されたのは、少なくとも、その人の内から出た力ではないはずです。あくまで、恵みによること、神の力、聖霊の力、イエス様の力によって癒されたことは、申すまでもないことです。

「イエスから力が出て」

ルカでもはじめての言い方・・・だけでなく、すべての福音書でも、唯一の言い方です。それは、繰り返しますが、今も言いましたように、当たり前的事だからです。それは、イエス様から出た、だからこそ、奇跡であり、まさに、癒やしなのでありますから。癒やしは、人からではなく、恵みから、神から出ていると言うことであります。

さて、最初の12使徒が選ばれた「なぜ」の答えが、くすしくも、ここに表されていると言う事です。すなわち、この何十人もの中から、使徒が12人選ばれたのも、12人の才能ではなく、それは、恵みであり、人からではなく、人の才能とかではなく、神から出た選びであったと言うことです。

私たちが、今、クリスチャンであること・・・についても、先に少し触れましたが、この御言葉をあらためて思い起こしたいと思います。ヨハネの福音書のこの言葉です。

「15:16 あなたがたがわたしを選んだのではなく、わたしがあなたがたを選び、あなたがたを任命しました。それは、あなたがたが行って実を結び、その実が残るようになるため、また、あなたがたがわたしの名によって父に求めるものをすべて、父が与えてくださるようになるためです。」

私の責任であなたを選んだのです。あなたがどうこうということではない。いわば、私の責任であなたを選んだ。だから、私の恵みで、あなたは実を結び、あなたが私の父に求めることは、私が父に話を通しておいたからこそ、私の責任であなたに何でも与えます、何でも必要なものがあるなら、私が用意します、私がすべて、あなたにやらせますと。

なぜ、イエス様が12弟子を選ばれたのか、そして、私たちがクリスチャンとされた「なぜ」の、その答えを言えば、それが、**神の意思であり、そして、それが選ばれた者への恵みだから**だと言うことです。

イエス様が、ある時、弟子達を、私の友だと読んだことがありました(ヨハネ15:14「あなたがたはわたしの友です」)。それで、ある人が、なぜイエス様は彼らを選んだか。それは、「イエス様は彼らを友となるため」だと言うと言いました。というのは、私たちはイエス様の代わりは出来ない、しかし、イエス様の働きを目撃者にはなれる。ただそれだけだ。あえて言えばイエス様(とその働き)に寄り添うことは出来る(実際にはイエス様が私に寄り添うのだが・・・)。と。

今週の歩み。主に召された者として、クリスチャンとされた者として、主の大きな恵みの業の目撃者として、その証人として、ここから出ていきましょう。